

ロシア東欧 経済速報

(社)ロシア東欧貿易会

2003年(平成15年)7月5日号 No.1265

目次

経済自由化の決断を求められるウズベキスタン	D.ヴォロンツォフ	1
キーパーソン		9
カザフスタン新内閣の顔ぶれ / 9		
エトセトラ		10
最新の特別報告書のご案内 / 10		
新刊案内『ソ連向大経鋼管輸出史 1000万トン輸出の軌跡』 / 10		
ロシア極東マイクロ・ビジネス支援の続報 / 11		
ロシア東欧貿易会関連の行事予定		11
CIS・中東欧諸国通貨の為替レート		11

経済自由化の決断を求められるウズベキスタン

はじめに

6月上旬、筆者は第7回日本ウズベキスタン経済合同会議の事務局の一員としてウズベキスタンを訪問する機会をもった。ウズベキスタンにはだいたい年に1度訪れており、こうした定期性ゆえに、過去数年間の変化というものを、表面的にはあれ考察しうる立場にある。そこで本稿では、この中央アジアの最重要国の最新事情につき、近隣諸国との関係、比較にも随時触れながら、筆者なりの見方を披露することにする。

昨今、ウズベキスタン経済を評価するのに決まり文句のように使われるのが、「大きな経済的ポテンシャル」、「この地域におけるウズベキスタンの重要な役割」、「経済変革におけるウズベク・モデルの特殊性」、「経済改革の漸進性」といった言葉である。経済的ポテンシャルが徐々にではあるが現実化し、「漸進的な」改革が若干の成果を生んでいることは事実であろう。それと同時に、国民の生活水準は相変わらずきわめて低く、マクロ経済改革は遅々としている。「漸進的な」変革を思い切って加速する必要があるという見解を聞く機会が増えている。